

研究課題名：	上部尿路結石に対する吸引機能付きアクセスシースを使用した経尿道的尿路結石破碎術の有効性の後方視的検討
所属（診療科等）：	公立昭和病院（ 泌尿器科 ）
研究責任者（職名）：	塚本 哲郎 （部長）
研究代表者（所属）	（多機関共同研究の場合に記載）
試料・情報の提供責任者： 試料・情報の管理責任者：	公立昭和病院 院長 坂本 哲也
研究期間：	2026 年 8 月 28 日～2029 年 3 月 31 日
研究目的と意義：	尿路結石症は本邦における泌尿器科代表的良性疾患の一つです。自然排石しない場合の外科的治療として、体外衝撃波破碎術(ESWL)、経尿道的結石破碎術(TUL)、経皮的腎尿管結石破碎術(PNL)がありますが、腎結石や上部尿管などの上部尿路における結石に対して、低侵襲性と反復施行のしやすさから、軟性鏡を用いた TUL (f-TUL)が一般的になりつつあります。 軟性鏡を使用する際、尿管アクセスシースを尿管内に挿入しますが、近年開発された吸引機能付き尿管アクセスシース(FANS)は、従来の尿管アクセスシースに吸引機能を付与し破砕片の効率的回収と腎盂内圧の上昇予防に寄与することが期待されています。当院では 2024 年にこの FANS を導入し、FANS f-TUL による治療を行っています。 先行研究では FANS f-TUL による碎石効率改善、周術期合併症低下が報告されていますが、本邦の実臨床における報告は多くなく、当院における上部尿路結石の治療成績を検討し FANS f-TUL の有効性を確認します。
研究内容：	●対象となる患者さん 2018 年 11 月から 2026 年 7 月までに当院で尿管結石に対して経尿道的結石破碎術（TUL）を施行された方 ●利用し、又は提供する試料・情報の項目 ・研究対象者背景 研究対象者識別コード、生年月日、性別、手術日、既往歴、合併症、アレルギーの有無、PS(ECOG)、身長、体重、血圧、脈拍、体温 ・画像診断 腹部 CT、腹部単純 X 線、腹部エコー ・臨床検査 血液学的検査（WBC、Hb など）、血液生化学検査（BUN、Cre、Ca、Alb、CRP など）、 ・結石情報 術前結石位置、結石径(長径、短径)、結石 CT 値、ESWL 治療歴の有無、結石分析 ・周術期情報 術前ステント留置の有無、手術時間、碎石率、術後発熱、術後合併症 ●提供する試料・情報の取得方法 カルテより情報を収集します ●試料・情報の利用目的及び利用方法（他機関へ提供する場合は、その方法を含む） すでに治療を終了した方のカルテ情報を用いて、情報を収集し、治療効果の違い

や副作用の発現率、再発の有無を後方視的に解析します。とりまとめと解析は泌尿器科で行います。

●利用する者の範囲（当該研究を実施する全ての共同研究機関の名称及び研究責任者の氏名）
昭和病院企業団 公立昭和病院

問い合わせ先：

【研究担当者】（研究全般に関すること）

例 1．研究計画や研究方法に関する資料の入手・閲覧に関すること

例 2．試料・情報の利用又は多機関への提供を停止する旨に関すること

例 3．研究により得られた結果等に関すること

氏名：榊原 遼太郎（泌尿器科）

住所：小平市花小金井 8 丁目 1 番 1 号

電話：042（461）0052（代表） FAX：042（464）7912

【ご意見・相談窓口】（研究・診療内容に関するものは除く）

総務課 042（461）0052 内線 2247

受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）